

4. 総務部

(1) 品位保持、執務のための指導および連絡

- ① 日常の業務行為に対する苦情に対しその都度対応しているが今年度は特に苦情らしいものはなかった
- ② 盛岡地方法務局からの問い合わせ等に対応
- ③ 会員からの問い合わせにその都度対応

(2) 会員への情報提供の迅速化

- ① 会員通知の配信並びに連合会情報等を HP に掲載し会員へ案内

(3) 会則、諸規則変更に伴う検討及び起案

- ① 会費減免等に関する規程を整備
- ② 既存の会則、規則の矛盾点、誤字等の調査

(4) 会員資料等の整備

- ① 平成 25 年度版会員名簿の発行

(5) 会館の保持管理と営繕

- ① 例年行われる定期の会館清掃
- ② 会館貯水槽の点検清掃
- ③ 会館入り口の自動ドア不具合による交換修理

(6) 日調連電子証明(IC カード)の発行の推進及び更新に対応

- ① 登録事項変更等は当会経由にて日調連へ報告
- ② 認証局変更に伴う案内等に対応

(7) その他総務部として所管すべき事項

- ① 街区基準点に基づく契約締結

5. 財務部

(1) 福利厚生事業の検討、実施

- ① 第 11 回岩手県土地家屋調査士会会長杯親睦ゴルフ大会の開催
平成 25 年 10 月 19 日盛岡ハイランドカントリークラブ

(2) 日本土地家屋調査士会連合会が斡旋する年金及び各種保険の事務

(3) 業務関連図書の紹介、斡旋

6. 業務部

(1) 業務に関する調査研究

① 表示登記研究会を開催
不動産調査報告書の記載内容について法務局登記部門と協議

② 業務委員会を開催
調査・測量実施要領改訂案について日調連に回報書を提出

(2) 調査士業務に関する指導、連絡、相談

- ① 会員からの問い合わせに対応
- ② 法務局との連絡、相談、打合せに対応

(3) 日調連事業に伴う連動事業の推進

- ① 土地家屋調査士特別研修に協力員を派遣

7. 研修部

(1) 定例研修会の開催

① 第1回 会員研修会

平成25年8月27日 盛岡市 アイーナ

出席者 本会会員147名／補助者6名／他会会員1名 合計154名

内容：講義Ⅰ 「業務で直面する税法」

講師：税理士 猿ヶ澤 顕洋 氏

講義Ⅱ 「調査士業務の法律に係わる諸問題」

講師：弁護士 斎藤 香織 氏

講義Ⅲ 「土地家屋調査士とADR」

講師：九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 氏

② 第2回 会員研修会

平成25年12月3日 盛岡市 ホテルルイズ

出席者 本会会員149名／他会会員2名 合計151名

内容：講義Ⅰ 「日本土地家屋調査士会連合会の現状と制度を考える」

講師：日本土地家屋調査士会連合会

副会長 菅原唯夫 氏

講義Ⅱ 「民法講座」

講師 弁護士 加藤文郎 氏

講義Ⅲ 「業務で直面する税法2」

講師：税理士 猿ヶ澤 顕洋 氏

③ 冬期間の研修会を各支部で開催

(2) 特別研修会の開催

- ① 公嘱協会との協賛事業
登記測量研修会の後援

- ② CPDポイント不足者の課題研修を実施

(3) 支部研修会への支援

- ① 支部研修会へ助成金支給

8. 広報部

(1) 対外的事業

- ① 各支部の無料相談事業の広告掲載（岩手日報朝刊）
「土地家屋調査士の日」関連（平成25年7月25日掲載）
「法の日」関連（平成25年9月30日掲載）
- ② 新聞年賀広告（名刺）の掲載（平成26年1月3日）
- ③ 川徳定期無料相談会（毎月第3水曜日）
年間相談件数 12件
- ④ カレンダーの斡旋と活用
岩手会作成カレンダーを販売斡旋（17名 合計494部）
又法務局等へ12部への配布
- ⑤ 「じめんのボタンのナゾ」本を寄贈
県内全小学校と図書館が対象（427カ所）
新聞等への広報も含め、各支部に協力頂いた
お礼状は会に届いたもので25通確認
- ⑥ 全国一斉 法務局休日相談所に対応（7カ所）
各支部より相談員を派遣協力頂いた（14名）

(2) 対内的事業（会員への情報伝達）

- ① 会報誌 黎明79号の発行（平成25年12月20日）
- ② 「地識くんいわて」の作成（会HPに掲載）
H25-3号まで作成
- ③ 会ホームページの運用
会員専用ページのリニューアル実施（平成25年10月4日）
- ④ 事業の記録
定時総会・研修会等のビデオや写真の記録

9. 社会事業部

(1) 「境界問題相談センターいわて」との連携

- ① 「調査士業務の法律に係わる諸問題」 講師 弁護士 斎藤香織氏
境界問題をテーマとした演題を提供した
- ② 第1回境界問題相談センターいわて相談員・調停員実務研修会 参加者30名
ア、境界問題相談センターいわての現状と課題
講師 センター長 岩崎久哉
イ、相談員としての手続き実務について

講師 副センター長 川村浩次
ウ、ADR概論・相談技法（ロールプレイ含む）
講師 新潟会 ADR運営委員 佐藤好男氏

(2) 筆界特定制度に関する調査研究

- ① 法務局本局（筆界特定室）と調査士会及びセンターとの打合せ
- ② 東北ブロックADR担当者会同の講演会及び各会担当者との意見交換

(3) 地図の作成及び整備等に関する情報収集、調査研究

- ① 地図作成及び震災関連業務について、被災3県、法務局等と合計10回の打合せを実施

(4) 日本司法支援センター岩手地方事務所（法テラス）との連携推進

- ① 協議会への参加により情報収集と連携推進 1回

(5) 官公庁への制度広報推進

- ① 啓発を兼ねたチラシ作成を検討

(6) 公共嘱託登記土地家屋調査士協会との連携

- ① 打ち合わせ会の実施 1回

10. 境界問題相談センターいわて

(1) センター運営業務の強化

- ① 評議委員会の開催 第1回

評議員 菊池直喜 千葉正和 岩崎久哉 以上土地家屋調査士
高橋 耕 小笠原基也 以上弁護士
オブザーバー 川村浩次運営委員

- ② 運営委員会の開催 6回

- ③ 第1回境界問題相談センターいわて相談員・調停員実務研修会

岩手県自治会館3F 第1会議室 参加者30名

ア、境界問題相談センターいわての現状と課題

講師 センター長 岩崎久哉

イ、相談員としての手続き実務について

講師 副センター長 川村浩次

ウ、ADR概論・相談技法（ロールプレイ含む）

講師 新潟会 ADR運営委員 佐藤好男氏

補講 調査士会館3F 会議室 参加者11名

ア、境界問題相談センターいわての現状と課題

講師 センター長 岩崎久哉

イ、相談員としての手続き実務について

講師 副センター長 川村浩次
ウ、ADR概論・相談技法（ロールプレイ含む）

講師 センター運営委員 辻山富紘

- ④ センター相談業務の状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日まで）
 - 事務局への電話による相談受付件数 38件
 - 調査士相談員による事前相談件数 19件
 - 調査士・弁護士相談員による相談件数 1件
 - 調査士・弁護士相談員による調停申立件数3件（内1件不応諾）
- ⑤ 東北ブロックADR担当者会同による、千葉会ADRセンター運営委員高橋一修氏による講演に参加
- ⑥ 運営委員の削減（10名→5名）によるスリム化と意思決定の迅速化
- ⑦ 運営委員による電話振り分けの即時対応化
- ⑧ センター相談員・調停員の増強（調査士45名、弁護士3名）
- ⑨ 東京会 境界紛争解決センター10周年記念シンポジウムへの派遣

（2）筆界特定制度等との連携

- ① 法務局本局と調査士会及びセンターとの打合せ
- ② 東北ブロックADR担当者会同での各会ADR担当者による意見交換
- ③ 平成25年12月 7日 筆界特定・境界問題ADR合同相談会
法務局本局 4F 会議室 センターから3名を派遣
相談件数9件（うち1件は調停申立あり）

（3）マニュアル並びに様式の改善と検討

- ① 手続きの流れについての改善及び検討
- ② 相談会場の見直しによる更新

（4）ポスター・リーフレットの配布等による広報活動

- ① 岩手県宅地建物取引業協会へのリーフレット配布
菊池直喜会長、小笠原寿男副会長、千葉正和社会事業部長
- ② 法務局本局（筆界特定室）へのセンターいわて及び日調連ADRポスター、リーフレットの配布
小笠原寿男副会長、千葉正和社会事業部長、岩崎久哉センター長
- ③ 支部長会でのポスター・リーフレットの活用依頼のため配布
- ④ 調査士会HP内の名簿にADR認定番号を追加

（5）センターと認定調査士等の相互活用についての検討

- ① 弁護士評議委員からの意見聴取
- ② 相談員研修でのブレインストーミング